

大阪府障がい者自立支援協議会による地域支援の取り組みについて

1. 令和2年度 of 取り組み

(1) 「新型コロナウイルス感染症対策下での協議会運営」に関するアンケートの実施

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策下における地域自立支援協議会の運営に関し、「(1) 地域の状況把握、(2) 情報発信・情報共有、(3) ネットワークの活用、(4) 協議会の開催状況、(5) 今後の取り組み」の観点からアンケートを実施。

■実施時期：令和2年9月

■回答数：府内すべての地域協議会より回答(37地域協議会)

■アンケート結果：別添1参照

<集約結果一部抜粋>

Q. 新型コロナ感染症拡大に伴う地域の障がい者支援体制への影響等について、協議会において現状・課題等の把握を行ったか。

①把握した	23 協議会(62%)
②現時点では把握していない(今後予定含む)	14 協議会(38%)

Q. 協議会として情報発信・情報共有した点。(複数選択)

①除菌や消毒に関する注意喚起	9 協議会
②感染時の対応に関すること	9 協議会
③感染防止対策を踏まえた適切な支援方法に関すること	10 協議会
④サージカルマスクや防護服等の在庫状況の共有	2 協議会
⑤サービスにおける臨時的取扱いや、各種事業所支援策等行政を中心とした施策に関すること	15 協議会
⑥その他	10 協議会

Q. 非常事態下であった新型コロナ感染症禍において協議会が持つネットワーク機能が発揮できたか。

①発揮できたと思う	16 協議会(43%)
②発揮できたとは思わない	21 協議会(57%)

Q. 改めて協議会機能について検証・評価し、協議会運営等についての課題抽出ができたか。

①協議会運営等についての課題抽出ができた	10 協議会(29%)
②現時点で協議会運営等についての課題抽出にはいたらなかった	24 協議会(71%)

Q. 新型コロナにかかる課題を踏まえ、協議会として実施中(実施予定)の取り組みはあるか。

①実施中	3 協議会
②実施予定(実施に向け調整中)	11 協議会
③何をすべきか整理中	6 協議会
④現時点で具体的な動きなし	17 協議会

(2) 地域自立支援協議会情報交換会の実施

- ・ 9月に実施したアンケートを踏まえ、新型コロナ禍における地域協議会での取組事例の共有等を目的に、地域自立支援協議会情報交換会を実施。

■日 時：令和3年2月22日（月）13時30分～16時

■方 法：オンラインと会場の同時実施

■参加者：オンライン44名、会場15名（34地域協議会／37地域協議会）

■ファシリテーター：大阪府障がい者相談支援アドバイザー

■テーマ：「自立支援協議会の機能と役割

—新型コロナウイルス感染症にかかる現状や対応策について—

■趣 旨：

新型コロナウイルス感染症の蔓延等を含む有事の際、地域で生活する障がい児者が安心・安全に生活を送り続けることができるためには、地域自立支援協議会がその機能を発揮できていることが必要である。

新型コロナウイルス状況下で、個別支援を通じ明らかとなった課題に対し、各事業所や協議会参画メンバーがどのように対応すべきか、事例の共有を図り、協議会において地域課題として認定し解決に向けた協議を進めると同時に、有事の際の協議会のあり方についても再検証する必要がある。

他の地域自立支援協議会の動きや、実事例を通じた対応策、改善策等について情報交換・意見交換を行い、今後の運営の参考とする。

2. 令和3年度の取組み

以下により地域の支援力向上に向けた取り組みを継続。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、オンラインの活用も視野に地域協議会に対するヒアリングを順次再開していく。ヒアリング内容及び地域協議会の意向も踏まえながら、アドバイザー派遣要否の検討を行うなど、府全体の底上げを図る観点からアドバイザー派遣事業と連動した支援を行う。
- ・ さらに、地域自立支援協議会情報交換会等の場において、「自立支援協議会」の仕組みに対する理解を深めるとともに、先進的取組事例や課題認識等に関する意見交換を行うことで、地域協議会の運営を側面から支援していく。